

低炭素地域づくり面的対策推進事業(兵庫県尼崎市)

人口46万人

阪神都市圏の尼崎市では、自動車利用が進み、公共交通の利用が減少しつつあることから、モビリティ・マネジメント(MM)手法やバス乗り継ぎ情報提供の実験を行い、自動車利用を公共交通利用に転換し、公共交通利用促進・整備によりCO₂を削減するための地域計画策定に必要な調査及びシミュレーションを行うものである。

実施主体: 尼崎地域地球温暖化防止対策交通協議会(兵庫県、尼崎市、JR西日本、阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急バス、阪神電鉄バス、尼崎市交通局、伊丹市交通局他)

①協議会の運営・検討

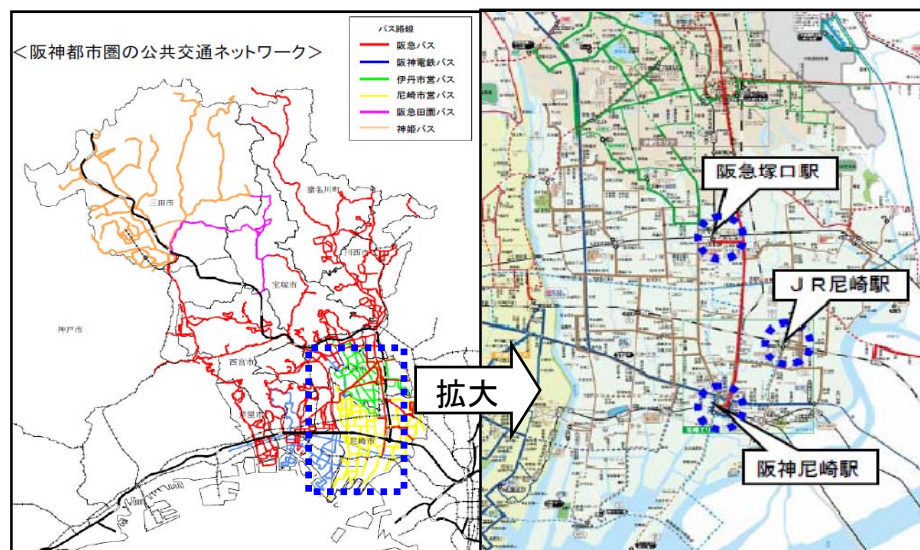
②地域のCO₂排出量調査

③モビリティ・マネジメントを用いた公共交通導入可能性調査

WEBによるMM/TFP(トラベル・フィードバック・プログラム)を実施し、公共交通の利用促進・導入整備のための調査を行う。



④情報提供の充実による公共交通の利用促進調査
3つの鉄道駅(右の地図参照)で、WEBや駅設置の情報板において、バス乗り継ぎ情報を提供し、公共交通(バス)の利用を促進するための実験を行う。



⑤公共交通促進対策の検討及びCO₂削減シミュレーション、地域計画の方向性の検討

平成20年度実施スケジュール

①2008年10月～2009年2月

②2008年10月～2008年12月

③2008年12月中旬～2009年1月末

④2008年12月中旬～2009年1月末

⑤2009年2月

問い合わせ先: 兵庫県阪神北県民局 宝塚土木事務所 企画調整担当 電話0797-83-3178
尼崎市企画財政局 都市政策部 交通政策担当 電話06-6489-6148